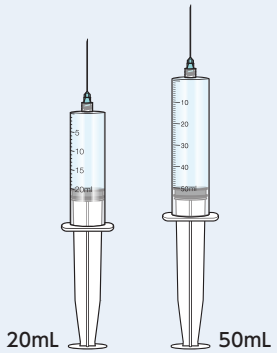
アネレム® 静注用 20mg 静注用 50mg 調製方法ガイド ―消化器内視鏡診療時の鎮静―

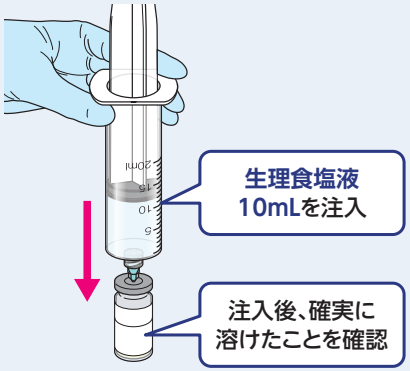
アネレム® の調製方法

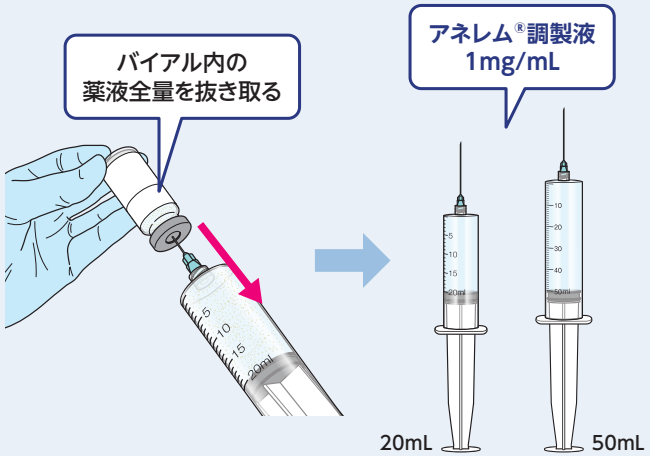
アネレム® 20mg製剤・50mg製剤のいずれも、最終濃度を1mg/mLで調製する。

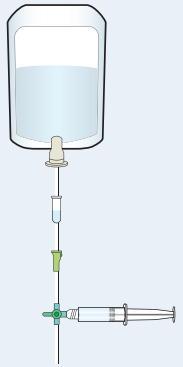
1. 本剤1バイアルに対して、注射筒に生理食塩液を10mL抜き取る。（プレフィルドシリンジ製剤の使用も可）
2. 抜き取った生理食塩液10mLをバイアルに加えて溶解する。内容物が完全に溶解するまでバイアルを静かに振り混ぜる。
3. バイアルから全量を抜き取った後、生理食塩液を用いて全量を20mLとする。（50mg製剤の場合は全量を50mLとする）
4. 三方活栓などを用いて側管より緩徐に静脈内投与する。



※コアリング防止のため、注射針は20–21ゲージを推奨しています。







※調製後すぐに使用しない場合は、遮光下で保存し、24時間以内に使用してください。

アネレム® 調製時に関連する注意事項

適用上の注意（抜粋）

14. 適用上の注意
14.1 薬剤調製時の注意
14.1.1 本剤の溶解液には通常、生理食塩液を使用すること。本剤は乳酸リンゲル液に完全には溶解せず沈殿するため、乳酸リンゲル液は本剤の溶解液に使用できない。
14.1.2 溶解後は24時間以内に使用すること。
14.1.3 pH4以上の場合に本剤の溶解度が低くなるため、アルカリ性注射液での溶解は避けること。
14.1.4 バイアルに生理食塩液10mLを注入し、確実に溶けたことを確認する。バイアルから薬液全量を抜きとり、生理食塩液と均一に混和し、全量を20mL（20mg製剤）又は50mL（50mg製剤）とする（1mg/mL溶液）。

(17)999999(10)AAA999
(01)14987906081322

専用アプリ「添文ナビ®」でGS1バーコードを読み取ることにより、電子添文等を閲覧できます。

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については、電子添文、適正使用ガイドを必ずご確認ください。

アネレム® の投与方法（イメージ図）

初回投与アネレム®3mg
少なくとも15秒以上かけて
静脈内投与

初回投与から
2分後

- 適切な鎮静が得られた場合
（MOAA/S スコア 3又は4）
→ 内視鏡検査／処置
（内視鏡スコープの挿入）を
開始*2

- 鎮静が得られなかった場合
（MOAA/S スコア 5）
→ 追加投与*1
アネレム®1mg/回
  - 適切な鎮静が
得られた場合
→ 内視鏡検査／処置
（内視鏡スコープの挿入）を
開始*2
  - 鎮静が
得られなかった場合、
追加投与を繰り返す
→ 総投与量が8mgを超える場合、
投与中止を検討

<MOAA/Sスコア>

スコア	状態
5	普通のトーンで呼ばれた名前に対して容易に反応する。
4	普通のトーンで呼ばれた名前に対して無気力に反応する。
3	名前を大声で呼び／又は繰り返し呼ばれた場合にのみ反応する。
2	軽くつつく又は揺すった場合にのみ反応する。
1	僧帽筋を痛いほど圧した場合にのみ反応する。
0	僧帽筋を痛いほど圧しても反応なし。

DA Chernik, et al. J Clin Psychopharmacol. 1990; 10(4): 244-251より作成

*1：1回の追加投与で鎮静が得られなかった場合は、適切な鎮静レベルが得られるまで2分以上の間隔を空けて1mgずつ追加投与します。
*2：適切な鎮静を維持するため、覚醒兆候が認められた場合、必要に応じて1mgずつ2分以上投与間隔を空けて追加投与します。

用法及び用量（抜粋）

<消化器内視鏡診療時の鎮静>
通常、成人には、レミマゾラムとして3mgを、15秒以上かけて静脈内投与する。効果が不十分な場合は、少なくとも2分以上の間隔を空けて、1mgずつ15秒以上かけて静脈内投与する。なお、患者の年齢、体重等を考慮し、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を適宜減量する。

用法及び用量に関連する注意（抜粋）

7.4 本剤に対する反応は個人差があるため、患者の年齢、感受性、全身状態、併用薬等を考慮して、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を調節すること。高齢者及び低体重者の場合、患者の全身状態等を踏まえ初回投与量及び追加投与量をそれぞれ半量とすることを考慮すること。[電子添文9.8、17.1.2、17.1.3参照]
7.5 消化器内視鏡開始前に本剤を総投与量として8mgを投与しても十分な鎮静効果が得られない場合は、本剤投与の中止を検討すること。

アネレム® 適正使用e-Learning

こちらのe-Learningでは、適正使用ガイドの内容に基づいた情報を掲載しています。
アネレム®のご使用前に受講ください。

https://www.mundipharmapro.com/ja-jp/medicines/anerem/e-learning

ムンディファーマ株式会社

JP-ANE-2500102
2025年6月作成